

# YACかわら版280

## 3色のシロイルカ

盆が過ぎました。

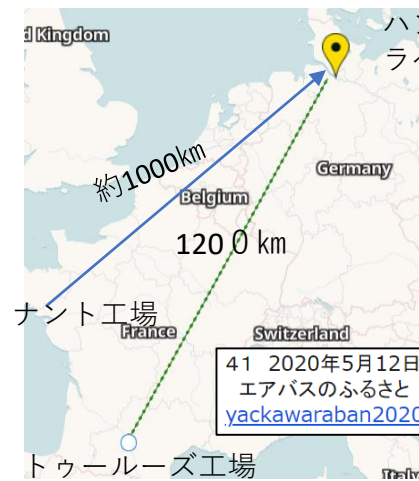
天候不順な今夏ですが、みなさんお元気ですか。

地域によっては学校の生活が始まる頃でしょうか。

新型コロナ感染症対応の、友だちや先生方との学びが楽しみです。

YACかわら版は、目下を時間をかけて飛行機の「虹」を追っているのですが、光学衛星の観測データは悪天候に悩まされています。本号では、「虹」を追う中で見つけた「3色のシロイルカ」を紹介します。

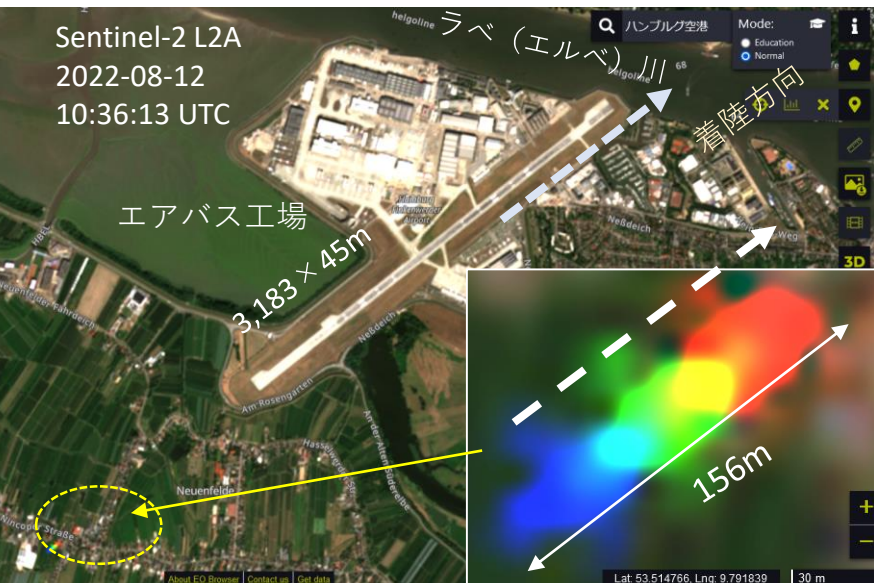
ANAの新しい機材エアバスA380「フライング・ホヌ：空飛ぶウミガメ」はマスコミに時々登場していますが、A380の最終組立て工場がドイツのハンブルクにあります。ヨーロッパ有数のラベ川の河口に近いハンブルク・フィンケンヴェルダー空港に隣接しています。日本も21の会社が製造に参加しています。世界の各地からの大きな部品などを運ぶ専用機にベルーガ（シロイルカ）という名前がつけられています。5機あります。



このハンブルク・フィンケンヴェルダー空港は、定期便の利用はなく、エアバス関連の飛行便の使用です。テスト飛行なども行われます。トゥールーズとは、一日に2便専用便もあるそうです。

トゥールーズの参照

41 2020年5月12日版  
エアバスのふるさと  
[yackawaraban20200512.pdf](http://yackawaraban20200512.pdf)



滑走路は50/230°  
(進入方向は北から50°)  
フライトレーダー24の飛行情報では機首方向は50°  
観測データで測定も50°  
3色に分かれた平面は、約156mあります。  
胴体の太さが目立ちます。  
さすがシロイルカです。  
フランスのナントから飛来しました。  
ナントのエアバス工場では中央胴体と機首の製造をしています。

センチネル2のデータでは、飛行機が3色の平面や虹色に見えることがあります。本号の続編として、近々紹介します。